1991～1992 RIテーマ
自分を超えた眼を
Look Beyond Yourself
RI会長 ラジェンドラ・K・サブー

例会 NO 67
No 2- 33 1992.3.18 発行

Tokyo Tama Green Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1991～1992年度クラブ目標 〝親睦と奉仕の流れを創ろう〟

第67回例会報告(3/4)

特別代表 由井 重光
司会 SAA 北村 幸彦
☆点鐘 会長」田中 實
☆国歌斉唱 「君が代」
☆ロータリーソング 「我等の生業」
ソングリーダー 菊地 敏
☆お客様紹介 会長 田中 實
富里 健（東京多摩ＲＣ）

☆会務報告 会長 田中 實

＊第９回定例理事会報告、下記のとおり。

・議題１ 花見例会について
親睦委員会より提案の花見例会について原案通り決定。
(イ) 東京国際C.C.にて、4/8 夕刻より開催し、移動例会とする。
(ロ) 会員会費１万円、同伴婦人、子供無料
(ハ) 予算は会員会費１万円＋通常例会費用
(ニ) スポンサークラブと稲城ＲＣの前年度会長、幹事及び今年度会長、幹事夫妻を招待。

・議題２ 親睦旅行について
親睦委員会より提案の親睦旅行について原案通り決定。
(イ) 開催日：６月３日及び４日（１泊２日）
(ロ) 予算は「会員１人当たり35,000円負担、バス代はクラブ負担」の範囲内。

〔多摩市社会福祉協議会より感謝状〕

(ハ) 詳細計画は親睦委員会一任。
(ニ) 移動例会とせず、例会後出発。
ただし、クラブ公式行事であり、全員参加を原則として実施。止むを得ない不参加についての取扱いは後日決定。

・議題３ 地区大会における選挙人選出について
田中会長及び赤尾会長エレクトを選出。

・議題４ ＲＩ会長指名委員会委員の候補者推選について
当クラブとしては創立から日も浅く、候補者について不明のため、今回は推選しないことに決定。

・議題５ 国際奉仕委員会より提案の「モンゴルの子供たちに鉛筆とノートを贈ろう」について原案通り決定。
〈目 的〉
教育環境に恵まれないモンゴルの子供た

ちに対し、国際奉仕プログラムとして文具用品（鉛筆・ノート）を集め贈る。

〈主　催〉

当クラブ、　ソロプチミスト多摩

多摩ニュータウンタイムズ

〈スケジュールその他詳細〉

国際奉仕委員会にて検討

〈目　標〉

鉛筆：3,000 本　ノート：500～1,000冊

（使用中の鉛筆は12cm以上）

現物寄贈とし、広報活動により広く市民に呼びかける。

☆幹事報告　　幹　事　宮本　誠

＊次回例会は、地区大会（3/11及び3/12）に振替え、移動例会となりますのでご注意下さい。当クラブ会員は３年未満の出席義務者ですので、いずれか１日は出席願います。

〔月例祝賀〕

親睦委員長　城倉　正博

〔会員誕生日〕

菊地　敏、　隅　耕造、　伊神　稔

大熊　將夫、　風間　茂穂、　吉田　文夫

橋本　幸夫

〔結婚記念日〕

吉田　文夫・文代、　奥木　博勝・道代

赤尾　恭雄・ヨシ子、　風間　茂穂・千津子

橋口　洋三・芳江、　足立潤三郎・巻子

菊地　敏・知恵子

〔夫人誕生日〕

佐伯　良子、　新海　素子、　城倉　幸子

☆委員会報告

★親睦委員会　　城倉　正博

ニコニコBOX

富室　健様　本日お世話になります。

隅　耕造　３月の誕生祝いありがとうございます。

新海源四郎　一昨日は、スクラッチ会で美味しい御酒をいただきました。

橋口　洋三　結婚祝ですので。

橋本　幸夫　社会福祉協議会への多額のご寄附を頂き有難うございました。御礼申し上げます。

萩生田茂夫　３月２日のスクラッチ会で、ハンデ８でベストグロス賞を頂きました。皆様の協力有難うございました。

伊神　稔　あと４日で50才になります。お祝い有難うございます。

宮本　誠　花粉で鼻がグチュグチュです。

津守　弘輔　ひなまつりもすぎ、いよいよ春ですね。

大熊　將夫　スポンサークラブの富室さん、ようこそ。

城倉　正博　かみさんのバースデーお祝ありがとうございます。

海野　栄一　春ですね。

赤尾　恭雄　結婚記念日祝、有難うございます。何時の間にか、結婚33年になりました。

以上合計　　，　　円

出席委員会

〔出席報告〕　　橋本　幸夫

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	33	1	9	80.95%
前回訂正	43	34	1	8	83.33%

〔先週のメークアップ〕

今井　正司（3/3 多摩ＲＣ）

〔本日の事前メークアップ〕

中山順一郎（3/3 多摩ＲＣ）

〔欠席届者〕　小島周二郎、永田　健作、

内藤　　實、須藤　起雄、高野　範城、
小坂　一郎、中山順一郎
〔欠席者〕　中山　恒武、吉原光太郎
（出席免除者１名）

★ゴルフ部　　伊神　稔

多摩市社会福祉協議会チャリティーゴルフの参加者申込、その他ゴルフスケジュールについて説明。

★米山奨学事業推進委員会

戸田　昭寿

米山奨学基金への寄附と税法取扱いの関係について説明、今後の協力依頼。

★次年度会長報告　　赤尾　恭雄

本日例会後、第４回被選理事会開催についてお知らせ。

【卓　話】

《日本における「ハイテク」の実態》
――そ　の　2――

風間　茂穂

冷戦による軍事開発と宇宙競争に米国民が目を向けている間に、日本の企業は商売上手なユダヤ系セールスマンとコミッションセールス方式で着々と基盤を築きました。当時は日本人の３倍も高い給料のため社員として採用できず、彼等もコミッションセールスを好みました。理由は、日本製品の利幅が高く値引きにも応じてくれるので、多くが日本製品に群がり、多額の収益を得られたことです。

当時は、フランスがアイディアを出し、西独が実用化、アメリカが量産化するとの例えがありましたが、日本はアメリカの得意とする分野に進出して行ったのです。量産のためのロボット、デミング氏によるＱＣが叫ばれたのも、元はといえば米国だったのです。

大量販売で品質の悪い物を作ってはクレーム処理に時間が取られ商機を失うため、大量生産と高品質の両条件は絶対的であり、ＱＣが日本で育ったのはその理由からです。

この頃、有名な研究所では、カタツムリやナメクジから今のセンサーの基礎研究など、金と時間に糸目をつけず、ハイテク製品を次々と完成して行ったのです。民生分野で日本に相当食われ手遅れに近い状態にあることに米国人の多くはまだ気付かなかったのです。

日本人の駐在員がキャデラックに乗り廻しアメリカ人が日本車に乗る、現在の貿易摩擦を知るには、米国人気質の理解が必要です。

① 絶対に№１でないと気が済まない国民。
② 底抜けの楽天家で自分達に都合良く考える。
③ 食住には金を使うが、基本的にはケチ。
④ 礼儀正しく、約束時間は守る。
⑤ 責任転化は実にうまい。
⑥ イエス・ノーの二者選択。
⑦ フェミニスト。
⑧ 意見を出さない者は無能力者扱い。
⑨ 他人の言動は気にせず、マネせず、テリトリーも侵さない。
⑩ 個人プレーが多く、グループ活動不得手。
⑪ 個人主義ではない。
⑫ 人種問題では心の中と外は別。
⑬ 言葉、文章、態度等、表現されたもの優先。
⑭ 自国、自分が最高と考える。
⑮ 資源を大切にしない。唯一全資源供給可能国。
⑯ ジョークが好き。
⑰ 機能本位に考える。
⑱ 不良率10%以下なら上々。
⑲ 職場より家庭が優先。
⑳ ４～５社の競合業界に手は出さない。
㉑ 経営者と勤労者のギャップが大きい。
㉒ 売主、買主は対等。
㉓ 情報は有料。財産として扱う。
㉔ 如何に楽しくて短時間に目的を達するかにエネルギーを集中。
㉕ 近視眼的考えと人の移動交代。
㉖ 会議は本当の議論の場。根廻しなし。
㉗ マーケッティングリサーチがうまい。
㉘ おせっかいをやいて嫌われる。

これらのことを説明しないと、何故赤字国に転落したかのヒントがつかめないからです。

日本車が急に売れ始めたのはオイルショッ

クがキッカケです。ガソリンが３倍近くに値上がりし、燃費がよく故障の少ない日本車を半信半疑で利用したところ、カタログ通りでマスキー法もクリアーする日本車は、ケチな米国人にタイミングよく広がったのです。

一家に３・４台の車を保有し、夫婦共働きが常識の米国に通勤用として利用されていきました。

日本がマスキー法をクリアできる筈がないと開発努力を怠り、市場調査とその判断の誤りが、自動車で代表される貿易摩擦の要因を作ったのです。家電製品も同様で、要はイソップ物語の兎に今はなっているだけです。

もう一つ忘れてはならないことは、同時期に安い労働力を求めて、多くの消費製品メーカーが海外へ生産拠点を移したことです。これも米国にとって輸入拡大の要因であることを忘れてはなりません。

日本は追打ちをかけるが如く民生品に力を注ぎ、多機能、小型化製品を送り出し、オリジナル製品を開発したメーカーは、日本製品の攻勢で姿を消さざるを得なくなりました。

しかし、米国はハイテク部門は堅持しています。例えば、日本ではジャンボ飛行機は作れませんし、人工衛生もまだ力は及びません。パソコンソフトも信号処理技術も遠く及びません。

何故こんなに差がついたのでしょう。アメリカ人気質がソフト技術に示されていると考えるべきでしょう。

日本の場合、結果は同じでもソフトに対する根本的発想が違い、途中はどうでも結果が同じならよいと考えるか、結果は勿論途中も極めて重要視するかの差があります。根本的発想が異なるので、ソフトの５～10年の格差は当分縮まらないでしょう。

幸いに不景気風が吹き始めた昨今、今こそ我々日本人が今後の生き方を考え直す絶好のチャンスが来たと考えるべきでしょう。

(1) もうマネは止めましょう。ヒントを利用する前に、オリジネーターと話合ってロイヤリティを払うようにしよう。

(2) 身に覚えのあるメーカーは、過去に遡ってロイヤリティを支払ってはどうか。

(3) 本当の意味でのハイテク国を目指し、基礎の基礎からやり直す位の覚悟が必要ではないか。

(4) 異常な過当競争は止め、オリジナル製品を少量に、付加価値の高い製品を。ヨーロッパのブランド製品のように。

(5) 日本は米国のミステークまでマネしている。海外進出は遠からず日本を赤字国に転落させる。

(6) 資源のない日本は、今は労働力不足と言っているが、不景気が深刻化し、逆に労働力の輸出もあり得る。

(7) 労働時間短縮は労働効率を十分高めたうえで実行されるべきである。

(8) 援助はよいが、おせっかいや傲慢な態度で嫌われる行動は取るべきでない。

(9) 教育はオリジナリティを育てる方向に。

(10) マスコミの情報は信じるな。寧ろ逆手に。

(11) ロシアは隠れたハイテク国。要注意。

(12) 真のハイテク国へ向かってベストを。

(13) 真の国際・社会奉仕に貢献とは何かを考えるべき。

以上、日本が心しなければ、極めて近い将来、大変なことになると日々考えています。アメリカは底知れぬ力のハイテク国であり、今は日本に責任転化の鉾先を向けているが、数年でまた No.1の国になると信じている。

しかし、日本は戦後、アンフェアな形で経済大国になつたことは事実であり、今ピンチの米国にお返しする時期であることは間違いありません。相手の立場を十分理解し、またその背景を知って的確な行動を速やかにおこすことが、大きく言うと世界平和のために絶対必要なことだと考えます。

東京多摩グリーンロータリークラブ

会　　長：田中　實　　副委員長：黒田文夫・委員：赤尾森雄
幹　　事：宮本　誠　　遠藤二郎・津守弘範・樋口洋三
会報委員長：足立　龍三郎
※例会場　多摩そごうデパート7F　サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463／FAX 0423(72)6491
※例会日　毎週水曜日12:30　月の最終例会18:30